

めぐニュース

かぐめよし少年自然の家だより 令和3年4月発行

かぐめよし少年自然の家は、昭和47年に開所しましたが、当時は「北九州市立少年自然の家」でした。同53年「たしろ少年自然の家」が開所したことに伴い、「かぐめよし」が付されたものです。当初、建設候補地は現在の鱒淵ダム上流の「七重の滝地区」「山瀬地区」を検討したが、最終的に頂吉地区に決定されたとのことです。

ところで、みなさん「七重の滝」に行かれたことはあるでしょうか？かつて、かぐめよし少年自然の家のプログラムの一つにも、七重の滝ハイキングがあったのですが、現在は中止しています。

鱒淵ダム沿いの入り口から約15分で、滝から流れ落ちる川を渡るのですが、「橋が無い…」のです。当時は、対岸まで長い孟宗竹を手摺代わりに渡し、所員が安全確保しつつ、一人ひとり渡渉していたのですが、多くの時間がかかるとともに、昼食後下山する際に通っていた山道の木橋も朽ち、危険なためでした。

ところが、最近橋が架かったとの声を聴き、確認に行きました。現地には、丸太を3本組み、その上に板を張った簡素な橋が架かっていました。安全に川を渡れることに感謝しています。丸太橋を渡るとすぐその先に真っ赤に塗られた「滝見吊橋」が安全に通行させてくれます。そこからは、第一の滝が福智山系の清水を滔々とダムに運んでいます。



山道の木橋は確認できていませんが、七重八重に連なる「七重の滝」は新緑に照らされ、ひっそりと、かつ脈々と北九州市民の水がめを潤していました。足を運んではいかがでしょうか。

水辺の仲間が増えました！



を展示しています。

また、日本で数か所しか自生していない希少な水草「ガシャモク」を保全活動の一環として、小倉南区にあるお糸池から数株を譲受け、ご覧いただけます。





主催事業報告



アウトドアギアを作ろう! ③



今回の「アウトドアギアを作ろう!」は、キャンプで持ち運び出来るスパイスボックスの制作を5組の親子がチャレンジ!



鋸(のこ)や鑿(のみ)、電動糸鋸など普段はなかなか使わない道具に四苦八苦しながらも、和気あいあいと作業を進めていました。

世界に1つだけのオリジナルスパイスボックス。これからのアウトドアシーズンに役立つといいですね!!

家族みんなでだんらんラン!



今年は宿泊が出来ず、日帰りで開催でした。

みんなで火をおこし、その火を使って薪ストーブに点火をしたり、昼食の飯盒炊飯、BBQ、棒パン作りをしました。

飯盒炊飯は、木を使って飯盒を吊下げて炊きましたが、参加者は初めてのことで、こんなやり方があったんだと驚いていました。当日は気候も良く、家族でのBBQはとても楽し

そうでした。炊きたての飯盒ご飯、美味しかったですね!!

第6回かぐめよし自然少年団

年度しめくくりの少年団。当日の予報は、曇り時々雨。小雨の降る中、標高 900.8m の福智山に登山に出発しました。道中、前日の雨で滑りやすくなっていたり、沢の水量が増水したりしていましたが、団員たちは力を合わせて声を掛け合いながら登りました。稜線に出ると体を飛ばされそうな風!! 残念ながら登頂を断念しました。団員達にとっては、引き返す判断を経験ができてよかったと思います。

帰って来てからは、ロープワークのテスト! みんな、一生懸命取り組んでいました。



*1月9日(土)~10日(日)「第5回かぐめよし自然少年団」は、新型コロナウイルス拡散防止の観点から、中止となりました。

*2月28日(日)「第3回ボランティア研修会」は新型コロナウイルス拡散防止の観点から、中止となりました

頂吉凶鑑

～第24回～

茱萸（グミ）



新年度の最初に、ご紹介するのは何がいいだろうと辺りを散策すると、この春の訪れの早いことに改めて驚かされました。スミレも例年より1ヶ月は早いようです。事務室から見える茱萸（グミ）の花は、もう満開です。

今回は、グミを紹介します。グミには春に熟すもの、夏、秋に熟すものなど何種類かあります。渋味のある甘酸っぱい実に郷愁を感じられる方も多いのではないのでしょうか。

かぐめよしの敷地に植えられているグミはナツグミの変種であるトウグミと呼ばれるもので、4月に花を咲かせ6月に実が熟します。実は大きく3cm程でしょうか。赤く大きな実が鈴なりになると、子どものころ夢中になって食べたことを思い出します。残念ながら最近の子どもたちは、たくさんの甘いものに囲まれているせいか、あまり喜んでくれません。もったいないなあと思っていると、たまに猿がやってきて食べてくれます

グミの木は、身近な物に、昔から利用されてきました。しなりがあり、衝撃を吸収し手に優しいことから、玄翁（金槌のこと）の柄として最適とされてきました。かぐめよしのグミの木は、大きくなって道にはみ出し通行の邪魔になるので枝を落とします。まっすぐな枝はまさに玄翁の柄にピッタリ！乾燥させて保存していたところ、所にやってきた棟梁（※令和元年9月号参照）に「玄翁の柄が折れたので丁度よい木はないか」と問われ、ここぞとばかり差出して、ご機嫌に納めてもらったのですが、後日、「あのグミはつまらん。一発で折れた。」とのこと。どうやらトウグミの木は適していないようです。その後いろいろと調べたのですが、「本グミ」の柄使用などと、うたわれ売られているものはあるものの、どのグミなのかは判然としません。ナワシログミではないかと推測しているのですが・・・どなたかご存知の方がいらっしゃいましたらご一報いただけませんか。

ちなみにグミとは、グイから転訛したもの。グイは棘のことです。

ありがとうございました



みっちゃん



まっちゃん



約2年間、（事務員として？）お世話になりました。

かぐめよしの自然の中で過ごせたこと、みなさんに出逢えたこと、たくさんの経験ができたこと、ここでの全てに感謝しています。私という「自分」を知ることや、気づきがたくさんありました。本当にありがとうございました。これからもかぐめよしに、皆さんの笑顔と活気が満ち溢れることを心から願っています。

このかぐめよし少年自然の家に来てからの約2年間はあっという間でした。事務仕事はもちろん、それ以外にも自然の事から趣味のことまでたくさん教えて頂けました。

この年になって初めて知る事もたくさんあり、子育てにも役に立つことばかりでした。所員、関係者の皆様には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



主催事業のお知らせ



4月～7月

	事業名	時期	対象者・人数
4月	かぐめよし自然少年団①	4月17日(土)～ 4月18日(日)	かぐめよし自然少年団に所属 する団員
5月	春の福智山登山	5月5日(水・祝)	小・中学生とその保護者 20名
	かぐめふるさと交流	5月22日(土)～ 5月23日(日)	中学生以下とその保護者 7家族
6月	紫川まるごと博物館	6月12日(土)～ 6月13日(日)	小・中学生とその保護者 20名
7月	かぐめよし自然少年団②	7月3日(土)～ 7月4日(日)	かぐめよし自然少年団 に所属する団員
	水環境体感キャンプ 事前研修会	7月10日(土)～ 7月11日(日)	小4～中3まで 15名
	水辺の生き物講座	7月17日(土)	小・中学生とその保護者 7家族
	親子でかぐめよしダムカヌー	7月18日(日)	小3～中学生とその保護者 20名

※今後の新型コロナウイルス感染状況によっては、事業を縮小・中止することがございます。

主催事業の募集は全て市政だよりに掲載します。
応募は市政だよりをご覧ください。

北九州市立かぐめよし少年自然の家

住所：〒803-0267

北九州市小倉南区大字頂吉451-1

電話：(093) 451-3111 FAX：(093) 451-3133

